

2025年度 東京家政大学狭山校舎 公開講座

後期講座の
ご案内



東京家政大学
ヒューマンライフ支援機構
地域連携推進センター

2025年度 後期講座のご案内

公開講座

■【歴史・文学】【語学】【文化・芸術】【心理・福祉】【健康・体力づくり】
ジャンルより8講座

Tokyo Kasei塾 2025 保育者編 《専門講座》

■【子ども支援と保育支援】 Part 2（後期）『保育における支援』

Tokyo Kasei塾 2025 食品編 《オンライン専門講座》

■発酵食品は知恵の詰まった玉手箱 一新製品開発のヒントを探そうー

✧所長挨拶✧

生活を豊かにし、生きる活力を高めることができる 「生涯学習社会」を目指して

東京家政大学地域連携推進センターは、地域とともに「生涯学習社会」を目指し、「地域課題解決に向けた連携・協力関係の構築」を目的に、本学の教育・研究の成果を地域社会で活用していただけるよう様々な事業を展開しております。ここにご紹介する各種講座・研修会などはセンターの事業体系の中では、「学習機会提供事業」に位置づけられ、健康、生活の質の向上、教養、学びなおしのお役に立てる講座・研修会を用意いたしました。皆様の受講をお待ちしております。

今後も本学の教育・研究の成果を活かした地域や社会の課題解決への諸事業・取組みを推進してまいります。皆様のご支援・ご協力を心よりお願い申し上げます。



東京家政大学
ヒューマンライフ支援機構
地域連携推進センター
所長
久篠 奈苗

■公開講座

■ 歴史・文学

- 01 『論語』の名言を今読み直す ～令和の時代を古典で楽しむ～……………4

■ 語学

- 02 楽しい英語の歌講座 ～クリスマス・ソングを英語で歌いましょう～……………5

■ 文化・芸術

- 03 詩を読もう ～声の変化で心も身体も健康に～……………6

- 04 俳句の実作と鑑賞 一日々の感動をことばに……………7

■ 心理・福祉

- 05 生き生き感性アート ―臨床美術入門講座（2025後期）―……………8

- 06 ストレスについて ―ストレスの対処法を学ぼう―……………9

■ 健康・体力づくり

- 07 きほんの献立練習 ～シンプルな献立法～……………10

- 08 自分自身の「心」と「身体」に向き合おう！ ～作業療法士・理学療法士の視点から～…11

■Tokyo Kasei塾 2025 保育者編《専門講座》

「子ども支援と保育支援」 Part 2（後期）『保育における支援』

- 09 気になる子どもへの対応 ―主体的な活動に向けて―……………12

- 10 こどもまんなか社会への取り組み ～こどもの視点を取り入れた子ども支援とは～…12

- 11 「気になる子ども」 ～子どもへの関わりと保護者対応・支援～……………13

- 12 保育における記録 ～意義と書き方の再確認～……………13

■Tokyo Kasei塾 2025 食品編《オンライン専門講座》

- 13 発酵食品は知恵の詰まった玉手箱 ―新製品開発のヒントを探そう―……………14

■受講のご案内……………15～23

01 『論語』の名言を今読み直す ～令和の時代を古典で楽しむ～

申込締切

10/23

木

講師 打越 竜也 (東京家政大学地域連携推進センター講師、放送大学非常勤講師)

講座日時 金曜日 (全3回) 13:30~15:00 [90分]

定員 30名

受講料 ≪一般≫6,000円 ≪本学学生≫3,000円

持ち物 筆記用具



講師プロフィール

大東文化大学大学院博士課程後期満期退学後、同大学の生涯学習講座講師として『論語』講座を担当。その他、埼玉県内の公民館、公開講座などでも『論語』講座を担当。また放送大学非常勤講師。論語講師として今年で24年目となる。一方で、大学受験予備校の河合塾で漢文講師としても活動中。

開催日

①11月7日(金) 論語を学ぶ

『論語』とはどんな内容なのか。有名な言葉を使って学びます。

②11月21日(金) 論語で考える

名言を読み直してどんな心境で語ったのか迫ってみたいと思います。

③11月28日(金) 論語で楽しむ

あらゆる角度から一つの文章を読み、名言をより味わい楽しみたいと思います。

講座内容

本講座は中国を代表する古典であり、我が国にも影響をもたらし読み継がれている『論語』を読み直します。毎回テーマを設けながら学び、考え、味わい、楽しみたいと思います。初学者の方でも丁寧に解説しますので、安心して受講していただけます。渋沢栄一も愛読した『論語』を、私たちも時空を超えて存分に楽しみましょう。



02 楽しい英語の歌講座 ～クリスマス・ソングを英語で歌いましょう～

申込締切

11/19
水

講師 酒井 藤恵 (児童学部准教授)

講座日時 水曜日 (全2回) 10:30~12:00 [90分]

定員 30名

受講料 ≪一般≫4,000円 ≪本学学生≫2,000円

持ち物 筆記用具・室内履き

開催日

①12月3日(水)

古典的なクリスマス・ソングや、“Silent Night”、“Santa Claus is Coming to Town”など、歌詞の意味を考え、発音練習、歌唱練習を行います。皆様へ2回目に歌いたい曲をお尋ねします。

②12月17日(水)

街でよく聞く“I Saw Mommy Kissing Santa Claus”「ママがサンタにキスをした」や、皆様からのリクエスト曲の発音練習、歌唱練習を行います。生ピアノ演奏で皆様が発表する時間も作ります。



講師プロフィール

東京都公立中学校、私立中学高等学校、私立短期大学等の勤務を経た後に、本学に着任。中・高現場の英語教授経験を生かし、英語の4技能習得や、英語科教育法などの科目を担当する。歌やコミュニケーションを授業に多く取り入れ、楽しく効果的な授業を目指す。現在は、主として、小学校の英語教育に関する開発や研究を実施している。文部科学省中学校英語検定教科書「One World」著者、英語検定面接委員。

講座内容

自信を持って楽しく英語でクリスマス・ソングを歌うことを目指す講座です。古典的なクリスマス・ソングや、“Silent Night”、“Santa Claus is Coming to Town”「サンタが街にやってくる」などの定番曲に加え、曲はよく聞けけれど、あまり歌ったことがないかもしれない“I Saw Mommy Kissing Santa Claus”「ママがサンタにキスをした」や、その他、皆様からのリクエスト曲も取り入れます。英語らしく聞こえる発音のコツも丁寧に指導します。ピアノ伴奏は多方面で活躍中の清家知代先生が担当し、生演奏に乗せてグループやソロでの歌唱も体験できます。英語と音楽の両方を楽しみながら、クリスマス気分を味わいましょう。



03 詩を読もう ～声の変化で心も身体も健康に～

申込締切

9/25
木

講師 金田 誠一郎 (俳優・演出家・振付師)

講座日時 金曜日 (全2回) 13:30~15:00 [90分]

定員 30名

受講料 ≪一般≫4,000円 ≪本学学生≫2,000円

持ち物 動きやすい服装・筆記用具



講師プロフィール

オンシアター自由劇場付属養成所卒業後アメリカ・ニューヨークヘダンスの勉強の為、渡米。1992年には自身の劇団「UTAN☆EYES」を立ち上げ、作・演出・振り付けを手がける。

1999年ショー GEKI大魔王旗揚げに参加、2012年までのほとんどの公演に参加。その後、映像作品へ活動の場を広げる。

出演作品「シン・ゴジラ」「闇金ウシジマくん part3」「今夜、ロマンス劇場で」など。

開催日

①10月10日(金) 声を出してみよう

軽いストレッチで身体をほぐし、発声練習の後、大きな声で詩を朗読する。軽くなった身体と声で朗読する楽しさを知ってもらいたい。

②10月17日(金) みんなで詩を読んでみよう

軽くストレッチしたら、詩を一人ではなく、何人かで身体を動かしながら読んでみる。一人で読むのと全く違う感覚を楽しんでもらいたい。

講座内容

詩の朗読というと、なんだか敷居が高く感じてしまいがちですが、大きな声で詩を読むと、身体も心も元気になれるはず。みなさんにその楽しさを知ってもらえたらと思っています。



04 俳句の実作と鑑賞 一日々の感動をことばにー

申込締切

10/25



講師 吉野 裕之 (東京家政大学非常勤講師・俳人)

講座日時 土曜日 (全3回) 13:30~15:00 [90分]

定員 20名

受講料 <一般>6,000円 <本学学生>3,000円

持ち物 筆記用具、ノート



講師プロフィール

1961年横浜生まれ。大学院在学中に作句をはじめ、今村俊三（桃滴舎主宰）、岸田稚魚（琅玕主宰）、岡井省二（槐主宰）に学ぶ。俳句のほか、短歌、まちづくり、NPOなどの分野でも実践と評論活動を行っている。著書に『空間和音』『博物学者』『Yの森』『ざわめく卵』『砂丘の魚』など。ウェブサイト「俳句工房 [ZA]」（<http://a-un.art.coocan.jp/za/>）を運営。俳人協会会員、日本文藝家協会会員。

文化・芸術

開催日

①11月8日(土) 俳句の基礎と名句鑑賞

俳句の約束事や作り方のポイントの説明、現代の名句の解説。

②11月22日(土) 俳句の実作と名句鑑賞

受講生の俳句を講師が講評。加えて、現代の名句の解説。

※宿題として、各自俳句2句を作り、当日持参、提出していただきます。

③12月6日(土) 俳句の実作と名句鑑賞

受講生の俳句を講師が講評。加えて、現代の名句の解説。

※宿題として、各自俳句2句を作り、当日持参、提出していただきます。

講座内容

俳句の魅力は、五七五という小さな器にもかかわらず、めぐる季節の美しさや日々の生活のなかに隠れているたくさんの感動を私たちに気づかせてくれることです。俳句を学ぶと、見慣れた風景も新鮮な表情を見せてくれます。

この講座では、「実作」と「鑑賞」を通して、俳句の作り方を基礎から学ぶとともに、日本語や日本文化のすばらしさを再発見しながら、ことばで表現する力を深めていきます。また、初心者の方も経験者の方も一緒に楽しみながら学べるよう進めていきます。

05 生き生き感性アート —臨床美術入門講座(2025後期)—

申込締切

9/18

木

講師 保坂 遊 (子ども支援学部教授)

講座日時 金曜日(全3回) 10:30~12:00 [90分]

定員 各日30名

受講料 《一般》6,000円 《本学学生》3,000円

持ち物 汚れても良い服装、作品を持ち帰る袋

※本講座は1回ずつの受講が可能です。申込の際、希望日を明記ください。希望日の記載がない場合は全3回の申込といたします。受講料は1回につき《一般》2,000円《本学学生》1,000円となります。



開催日

- ①10月3日(金) **木漏れ日ボトル**
シンメトリーのボトルの形を、透明素材に描くことでボトルの透明感が表現できる事を体感します。
- ②11月28日(金) **柿の量感画**
柿の手触りや重さ、質感を実感しながら、異なる素材を重ねていくことで生まれる表情を楽しみます。
- ③12月12日(金) **クリスマスプレート**
クリスマスの賑やかで楽しい気持ちをイメージし、白い皿にステンシルとスクラッチを組み合わせ、アナログ表現を楽しみます。

講師プロフィール

東京家政大学子ども支援学部長 子ども支援学科教授 臨床美術士1級 彫刻家 臨床美術学会／日本臨床美術協会副会長

大学で彫刻を学び、大学院では社会福祉学を学ぶ。幼児の造形表現教育に携わりながら、臨床美術の普及のため、沖縄県、宮城県での活動を経て、2014年より本学子ども学部に着任。科研費「多職種協働による芸術保育を主軸とした日常保育実践モデルの開発」、「発達支援プログラムとしての美術表現活動の確立へ向けた脳内ネットワークの解析」等の研究を推進し、美術が教育・福祉・医療に果たせる役割をテーマとして探求している。

講座内容

「臨床美術」とは、豊かな感性と創造力を引き出す独自のアートプログラムを用いて美術創作を楽しむそのプロセスによって、認知症ケア、介護予防、また保育・教育現場、また様々な子どもへの実践へとニーズが広がっているアートセラピーです。「生き生き感性アート」も3年目を迎えることができました。毎回それぞれのテーマに沿って、五感で感じたことをユニークな手法によって制作しながら、個性溢れる美術表現の世界をみなさんと一緒に楽しみましょう。



1回目



2回目



3回目

06 ストレスについて —ストレスの対処法を学ぼう—

申込締切

10/1
水

講師 川内 健三 (健康科学部講師)

講座日時 水曜日 (全1回) 10:00~11:30 [90分]

定員 30名

受講料 ≪一般≫2,000円 ≪本学学生≫1,000円

持ち物 筆記用具

開催日

①10月15日(水) ストレスの対処法を学ぼう
講義と演習を行います。



講師プロフィール

看護師として国立療養所久里浜病院、国立精神・神経医療研究センター病院で勤務し、国立看護大学校研究課程部にて修士の学位を取得。

主な研究課題は精神科急性期看護、行動制限最小化、精神障がい者の地域支援です。本学では健康科学部看護学科に所属し、精神看護学領域で講義・演習・実習を担当しています。障害の有る無しに関わらず、お互いが相互に人格と個性を尊重し合える共生社会の実現に向けて取り組んでいます。



講座内容

現代に生活する上で様々なストレスを感じていませんか。ストレスとどう付き合えばいいのか悩んでいる方もいるのではないかと思います。ストレスは健康に影響を与えることもあれば、成長を促すこともあります。まずはストレスとは何かについてお話しし、ストレスについての理解を深めます。そして、自分の性格傾向、行動パターンをエゴグラム(交流分析)を用いて把握します。自分の傾向を知ったうえで、様々なストレスに応じたしなやかなこころを育てるため、ストレス対処法について学びます。

07 きほんの献立練習 ～シンプルな献立法～

申込締切

10/27

月

講師 角南 祐子 (短期大学部講師)

講座日時 火曜日 (全1回) 11:00～12:30 [90分]

定員 20名

受講料 ≪一般≫2,000円 ≪本学学生≫1,000円

持ち物 筆記用具

開催日

①11月11日(火) きほんの献立練習
ワークシートに取り組む時間も設けながら、分かり易くご説明します。



講師プロフィール

順天堂大学大学院修士課程（健康科学）修了後、助手・助教としての大学勤務および、他大学での非常勤講師を経て、現在、東京家政大学短期大学部講師として勤務。

現場栄養士での勤務経験を活かし、現場に沿った講義や実習を通じて、社会で活躍できる栄養士・管理栄養士を輩出すべく、効果的な学習方法等について研究。

主な社会活動として、東京都保育士キャリアアップ研修の食育分野について講師を務める。

講座内容

「この食品を食べれば健康になる」という食物はありません。反対に「この食品を食べたら不健康になる」という食物也没有。様々な食物をバランスよく、楽しく食べることが、体にも心にも一番なのです。

「毎日の献立を考えるだけでも億劫なのに、栄養バランスの整った献立を考えるなんて面倒だわ。」と思われる方も多いと思います。そこで、この講座では、献立を立てるための簡単ルールや目安を学び、ご家庭で実践できるような、シンプルな献立法についてお話をさせていただきます。



08 自分自身の「心」と「身体」に向き合おう！ ～作業療法士・理学療法士の視点から～

申込締切

10/16

木

主任講師
講師

後藤 寛司 (健康科学部教授)

齊藤 展士 (健康科学部教授) 趙 吉春 (健康科学部講師)

講座日時

木曜日 (全2回) ①13:30～15:00【90分】 ②13:30～16:30【180分】

定員

20名

受講料

《一般》4,000円 《本学学生》2,000円

持ち物

①筆記用具、飲み物 ②筆記用具、飲み物、室内用履き物、動きやすい服装 (トレーニングウェアなど)、タオル

開催日

①10月30日(木) 心と向き合う 講師: 趙 吉春

認知症・老年期うつに関する医学的基礎知識、予防に関する基本的考え方・方法を解説し、その後、簡単な運動課題・認知課題の同時実践を体験します。

②11月6日(木) 身体と向き合う 講師: 後藤 寛司・齊藤 展士

運動機能の衰え、特にロコモティブシンドロームに関する医学的基礎知識や予防方法などに関して解説をします。その後、ロコモ度テストを行います。最後に、予防方法などに関連した運動を行います。

簡単な運動や測定を行います。医師や専門家などから運動を制限されている方や身体(関節など)に痛みがある方は、各個人の健康状態などをお聞きし、当日の状態や体調に応じて、運動や測定のすべて、または一部をご遠慮していただくことがありますので、ご承知おきください。

講座内容

日頃から運動や趣味など様々な活動をしているからといって健康面に安心をしていませんか？ 心や身体は衰えは自分自身が気付かない間に進んでいくものです。この講座では、心や身体は衰えは何が原因なのか、どのように衰えていくのか、衰えを防ぐには何をすればよいのかに関して、リハビリテーション専門職の視点から解説します。また、今の自分自身の運動機能はどのような状態なのか測定してみましょう。この機会に自分自身の心と身体に向き合ってみませんか？



後藤 寛司
(主任講師)



齊藤 展士



趙 吉春

講師プロフィール

平成11年、北里大学医療衛生学部を卒業し、理学療法士の国家資格を取得。その後、北里大学大学院医療系研究科(博士課程)を修了し、博士(医学)を取得。理学療法士としては、一般総合病院や訪問看護ステーションなどのリハビリテーション部門にて非常勤職員として勤務。豊橋創造大学(平成18年:専任講師、平成26年:准教授)を経て、平成30年より東京家政大学健康科学部(教授)に着任。専門分野は、バイオメカニクスや老年学を中心に、ヒトの動作分析や地域在住者への運動介入に関する研究に従事。

講師プロフィール

北海道大学大学院医学研究科にて博士号取得(医学)。現在、健康科学部教授。リハビリテーション科学、神経科学を専門とし、脳と運動・姿勢の関係について探求している。担当は理学療法評価学、運動療法学、運動学演習など。運動制御と運動学に関する研究、バランス障害に対する理学療法に関する研究などニューロサイエンスやバイオメカニクスの分野を中心に臨床への還元を目指した研究に携わる。

講師プロフィール

精神領域の作業療法士として、10年以上臨床業務に従事する傍ら、名古屋大学大学院医学系研究科にて修士(リハビリテーション療法学)を取得。研究は主として地域在住の精神障害者の記憶機能や時間使用についての調査をおこなってきた。2022年東京家政大学大学院人間生活学総合研究科人間生活学専攻にて博士(学術)を取得。現在は、脳波による脳機能評価や経頭蓋磁気刺激による皮質運動野の評価など神経生理学手法を精神科リハビリテーションに用いた実験もおこなっている。

【子ども支援と保育支援】 Part 2(後期)『保育における支援』

09 気になる子どもへの対応
—主体的な活動に向けて—

申込締切

10/18



【担当講師】 阿部 崇 (子ども支援学部准教授)

講座日時	11月1日(土) 10:00~12:10 [60分]×2コマ (全1回)
定 員	30名
受講料	《一般》3,000円 《本学学生》1,500円
対 象	幼稚園教諭・保育士・保育教諭等
持 ち 物	筆記用具



講座概要

本講座では、保育場面で見られる「気になる子ども」をどのように捉え、どのように対応するのか、具体例を挙げながら概説します。また、特別支援教育の現場で実際に使用されている教材に触れていただき、教材を使用することにより「気になる子ども」が主体的に活動に取り組める工夫について説明を行います。講義を通して「気になる子ども」の生きづらさを今一度考えるきっかけになればと思っています。先生方が「気になる子ども」への理解を深め、よりよい支援ができるようになることを願っています。

講師プロフィール

筑波大学附属大塚特別支援学校(知的障害)に長らく勤務し、知的障害児教育における先導的教育モデルを目指した実践に取り組む。平成30年度より、東京家政大学子ども支援学部子ども支援学科及び、大学院児童学児童教育学専攻で教鞭をとる。障害のある子どもの教育や運動遊び、また障害者スポーツを専門に研究する。主な著書は、「特別支援教育時代の体育・スポーツ：動きを引き出す教材80(大修館書店)」、「21世紀スポーツ大事典(大修館書店)」、「発達に気になる子の運動遊び88(学研教育出版)」がある。

10 こどもまんなか社会への取り組み
～こどもの視点を取り入れた子ども支援とは～

申込締切

10/31



【担当講師】 千葉 弘明 (子ども支援学部准教授)

講座日時	11月15日(土) 10:00~12:10 [60分]×2コマ (全1回)
定 員	30名
受講料	《一般》3,000円 《本学学生》1,500円
対 象	幼稚園教諭・保育士・保育教諭等
持 ち 物	筆記用具



講座概要

「こどもまんなか社会」を実現するために、こども家庭庁が創設され、こども基本法が制定されました。そして地方自治体などにおけるこどもや子育て家庭に関する施策においては「こどもの視点」を取り入れることが義務付けられています。本講座では「こどもまんなか社会」とは何か？なぜ「こどもの視点」が必要なのか？「こどもの権利擁護」とは何か？について皆さんと一緒に考えていきたいと思います。

講師プロフィール

保育士養成校の教員として20年あまりが経ちました。現在は東京家政大学子ども支援学部子ども支援学科に所属し、主に保育実習指導(施設)、子ども家庭福祉、社会的養護概論を担当しています。質の高い保育士養成を目指した効果的な施設実習の教授法、保育士における保育倫理の捉え方や倫理綱領の活用方法などを研究しています。これからの研究課題としてはチルドレンファースト(子ども最善の利益)を目指した施設支援について取り組みたいと思っています。

11 「気になる子ども」 ～子どもへの関わりと保護者対応・支援～

【担当講師】 福水 道郎 (子ども支援学部教授)

申込締切

11/15



講座日時	11月29日(土) 10:00～12:10 【60分】×2コマ (全1回)
定員	30名
受講料	《一般》3,000円 《本学学生》1,500円
対象	幼稚園教諭・保育士・保育教諭等
持ち物	筆記用具



講座概要

近年、保育・教育現場では、「気になる子・特別な配慮を必要とする子」が増えており、個別的な対応・支援が必要とされています。集団活動に参加することが難しい子どもや、言葉で伝えることが難しく手が出てしまう子ども、気持ちのコントロールが難しく泣き叫んだり壁に頭を打ち付けたりする子ども、興味・関心の幅が狭く動き回る子どもなど多様な気になる子がいます。現役小児科医でもある講師が、発達相談や小児精神神経クリニックの診療経験も踏まえて、これらの子どもの背景を探り、加療・支援・保護者対応について考察・解説します。

講師プロフィール

東京医科歯科大学小児科、国立精神・神経医療研究センター小児神経科・小児睡眠専門外来・精神保健研究所睡眠覚醒障害研究部・Maine大学心理学科・東京都医学総合研究所で小児神経学・重症心身／発達障害児の臨床・研究に従事しました。現在、東京家政大学で学生の教育、瀬川記念小児神経学クリニック・やまだ子どもクリニック久米川で神経・発達外来をしており、様々な病態、障害をもつ小児において健康力を高める探究をしています。

12 保育における記録 ～意義と書き方の再確認～

【担当講師】 和田 明人 (子ども支援学部教授)

申込締切

11/21



講座日時	12月6日(土) 10:00～12:10 【60分】×2コマ (全1回)
定員	30名
受講料	《一般》3,000円 《本学学生》1,500円
対象	幼稚園教諭・保育士・保育教諭等
持ち物	筆記用具

(主任講師)



講座概要

手薄な体制で煩雑さに追われる毎日のなかでも、とりわけ手間のかかるのが記録…。忙しさと慌ただしさが続く保育において、記録は必須の業務とされています。なぜそれほどまでに記録は必要なのでしょう。業務省略化・ICT化も図られてきた今日、省略してもいいことと、大切にすべきことはどんなことでしょうか。そして、目的達成のためには、どのように書くのが適切なのでしょう。

本講座では、記録に関する本来的な意義を参加者の皆様と一緒に考え合いながら、保育の記録の書き方について細かなところまで確認し合っていきます。

講師プロフィール

初任から短期大学で14年間、前任の大学では17年間、現在は東京家政大学子ども支援学部教授として、これまで保育者養成教育に携わって参りました。

現在、高齢者介護施設を運営する社会福祉法人と、保育所を運営する社会福祉法人のそれぞれの理事長職を務めております。保育現場と保育者養成校の実働を協働にするための方略を模索中です。

13 発酵食品は知恵の詰まった玉手箱 —新製品開発のヒントを探そう—

【担当講師】 藤井 建夫 (東京家政大学大学院客員教授)

申込締切

11/19

水

開講方法	Zoomによるオンライン開催
講座日時	12月4日(木) 13:30~15:40 [60分]×2コマ
定員	30名
受講料	《一般》3,000円 《本学学生》1,500円
対象	食品関係の企業に従事されている方、 及びこのテーマに関心のある方



発酵食品というとかいいことがありそうです。発酵食品は先人たちが長い間に試行錯誤を繰り返しながら作り上げてきた、いわば人間の叡智の結晶です。最近の発酵食品ブームは、おいしさや健康機能が注目されていることですが、この講座では、数々の巧妙な微生物利用がみられる日本酒と、あまり知られていない魚の発酵食品を取り上げ、そこに含まれる合理的な知恵や工夫について考えてみましょう。新製品の開発や改良に役立つ様々なヒントが得られるでしょう。

講義1 日本酒に見る見事な微生物利用

発酵食品とは？発酵にかかわる微生物たちとその働きは？発酵食品にはどのようなものがあるのか？について学びます。日本酒は、カビ、酵母、細菌という3種の微生物の見事な連携でつくられます。日本酒造りについて微生物利用の知恵を見てみましょう。

講義2 水産物にもある様々な発酵食品

魚介の発酵食品といっても、せいぜい塩辛くらいしか思いつかないかもしれませんが、くさや、ふなずし、しょつるなど、様々なものがあります。農産品とは異なる発酵食品の仕組みを見てみましょう。

京都大学大学院農学研究科博士課程修了、東京水産大学・東京海洋大学教授、東京家政大学特任教授、日本食品衛生学会会長などを経て、現在、東京家政大学大学院客員教授、東京海洋大学名誉教授。専門分野：食品微生物学、食品衛生学。日本水産学会、日本食品衛生学会および日本食品微生物学会各名誉会員。「ガッテン!」、「ホンマでっか!? TV」、「林修の今でしょ! 講座」、「羽鳥慎一モーニングショー」など数多くのメディアに出演。『魚の発酵食品』、『新・食品衛生学』、『食品微生物学の基礎』など著書多数。



お願い

**講座をお申込の前に
必ず、目を
通してください。**

受講のご案内

受講のご案内・申込方法	15～19
狭山キャンパスマップ・交通のご案内	20
受講申込書（FAX専用用紙・ハガキ）	21～23

受講のご案内

❖申込 ❖手続き方法

❁ 受講資格

- ◆年齢・性別は問いません。どなたでも受講できます。
- ◆講座により、受講条件がついている講座がありますので、各講座のご案内をご覧ください。

❁ 定員

- ◆定員となり次第締切りとなります。講座によっては抽選にての対応となる場合もありますので、ホームページの各講座の案内頁をご確認ください。

❁ 受講キャンセルについて

- ◆受付完了後のキャンセルの際は必ずご連絡をお願いします。受講料振込後のキャンセル・変更に伴う、受講料・教材費の返金は、基本的に応じられません。

ただし、開講前ややむをえない事情と判断された場合は、

返金手数料（1,000円）

事務手数料（300円）

を除いた金額を返金いたします。講座開講日当日のキャンセルは、受講料・教材費等の返金はいたしませんのでご了承ください。

❁ キャンセルが発生した場合について

- ◆定員を超えた講座に関しては、キャンセル待ちでのお申込が可能です。キャンセルが発生した場合、先着順にて講座の前日までにお電話にてご連絡いたします。

講座によっては、再度抽選を行い、ご連絡する場合があります。

- ※申込書のお電話番号は、日中連絡のつく番号をご記入ください。

❁ 開講中止について

- ◆受講者が一定数に満たない場合、講座を中止することがあります。

やむをえない事情により講座が中止となった場合、受講料を返金いたします。

返金は銀行振込になります。

なお、当該年度内に返金手続きに必要な書類をご提出いただけない場合は、返金の権利を放棄したものとみなします。

❁ 受講料について

- ◆後日（申込締切後）、「受講票・専用払込票（コンビニ専用）」を郵送いたします。専用払込票を使って、コンビニエンスストアにて、支払期日を厳守の上お振込みください。

また、受講料とは別に、事務手数料として300円を頂戴いたしますので、ご了承ください。

なお、銀行・郵便局でのお振込み、センター窓口での現金での受講料のお支払いは原則できません。

❁ 休講について

- ◆講師の都合及び事故・災害等のやむをえない事情により、休講になることがあります。

その際、当初の日時を変更・あるいは講師を変更して補講を実施する場合があります。

補講の日程については講師が決めさせていただきますので、予めご了承ください。

休講の連絡は、申込時にご記入いただいた電話番号にご連絡します。不明な際は、センターまでお問い合わせください。（業務時間外は対応できませんのでご了承ください）

❁ 図書館利用について

- ◆講座受講期間中は、図書館への入館ができます。ただし、図書の貸し出しや視聴覚機器のご利用はできません。

- ◆ご利用の際には、「図書館利用カード」が必要となります。ご希望の方はセンターまでお越しください。なお、カードは必ず、当日の業務時間内に返却ください。

※ご利用時は「受講証兼入構証」を首から下げてください。（初回受付時にお渡し）

❁ 学生食堂利用について

- ◆講座受講期間中は、学生食堂の利用ができます。土曜休業、その他休業日がございます。ご了承ください。

- ◆ご利用の際には、「受講証兼入構証」を首から下げてください。（初回受付時にお渡し）

※初回の講座前に利用の場合は、センターまでお越しください。

❁ 受講上の注意

- ◆駐車場はありませんので、お車でのご来校はご遠慮ください。

- ◆教室内での食事・喫煙はご遠慮ください。
※水分補給のための飲み物は可能です。

- ◆講座中は、携帯電話の電源をお切りになるか、マナーモードに設定してください。

- ◆他の受講生の迷惑となるような行為、また、講義の進行を妨げるような行為があった場合は、受講をお断りする場合があります。

- ◆教室内では、許可なく録音・録画・撮影することはできません。

- ◆講座中、広報用として、写真の撮影をさせていただきます。撮影、使用に同意されない場合は、講座当日、お申し出をお願いいたします。

- ◆親子プログラム対象者以外のお子様との同伴の受講は、ご遠慮ください。

- ◆講座を欠席する場合の連絡は不要です。

- ◆講座を欠席した場合、その日の資料は、次の講座の時に配布します。ただし、最終回については、センターまでご連絡の上、お越しください。（郵送でのお渡しは行っておりません。）

- ◆住所等の変更がございましたら、センターまでご連絡ください。

❁ 受講特典

- ◆受講案内のパンフレットを、毎年お送りいたします。

❁ 個人情報について

- ◆個人情報は公開講座以外の目的には使用いたしません。

1 受講申込

巻末の「受講申込書」に必要事項をご記入の上、**FAX、ハガキ、メール**で、お申込ください。

お電話での申込は受け付けておりません。

ハガキでお申込の場合は、申込締切日必着となりますので、余裕をもって投函してください。※官製ハガキでの申込も可能です。

(メールでのお申込の場合はP.19参照)

**★申込締切は原則、
各講座開始日の
約2週間前**

- 日数調整のため、締切日が前後する場合もありますのでご了承ください。
- **各講座のタイトルの右横に、申込締切日を表記しています。この日が、開講有無の最終決定日となります。**

2 申込結果 専用払込票郵送 (コンビニ専用)

* 開講決定の場合

「受講票」と「専用払込票（コンビニ専用）」を各講座申込締切後（講座2週間前頃）に郵送します。

* 受講希望者が定員を超えた場合

講座によっては、「キャンセル待ち」として登録し、メールまたはお電話にて連絡します。

- 「キャンセルが発生した場合」
講座の前日までにキャンセル待ちの登録順にお電話にて連絡します。
- 「講座の前日までにキャンセルが発生しない場合」
連絡はいたしませんのでご了承ください。

* 講座申込締切日の時点で、申込者数が一定数に達しない場合

中止決定の通知をメールまたは郵送にて連絡します。

3 受講料お支払い 講座開講

- * 講座期間中は、「受講票」をご持参ください。正門入構の際、ご提示ください。
- * 受付の後、指定の教室にお入りください。

教室は、前の授業で
使用している場合があります。

**教室への入室は、
原則として30分前と
させていただきます。**

**★受講料については、
お送りする専用払込票
(コンビニ専用) にて、
記載されている期日
までに、お支払いを
お願いいたします。**

メールでの申込方法

次の事項を明記の上、メールの件名を「公開講座申込」として、下記申込専用E-mailアドレスへ送信してください。

①

- 駐車場はありませんのでお車のご来校は、ご遠慮ください。
- 講座開講日当日のキャンセルの場合は、受講料・材料費の返金はいたしません。
- 申込締切日厳守をお願いします。
- 講座中、広報用として、写真の撮影をさせていただきます。撮影、使用に同意されない場合は、講座当日、お申し出をお願いいたします。

☆ 以上の内容を了承の上、受講を申込ます。
「はい」を必ず記入

- ② 受講講座名
 - ③ 住所 〒
 - ④ 氏名 (ふりがな)
 - ⑤ 性別
 - ⑥ 電話番号 / 携帯番号
 - ⑦ E-mailアドレス
 - ⑧ 生年月日 (年齢)
 - ⑨ 職業
 - ⑩ 受講経験の有無
 - ⑪ 講座は何でお知りになったかを記入
- ※ ⑥ の連絡先は、必ず連絡のつく番号を記入
ください。

申込専用
《E-mail》アドレス



chiikioubo@tokyo-kasei.ac.jp

お問い合わせ先

東京家政大学 ヒューマンライフ支援機構 地域連携推進センター

住 所 〒350-1398 埼玉県狭山市稲荷山2-15-1 TEL 04-2955-6959 FAX 04-2955-6929

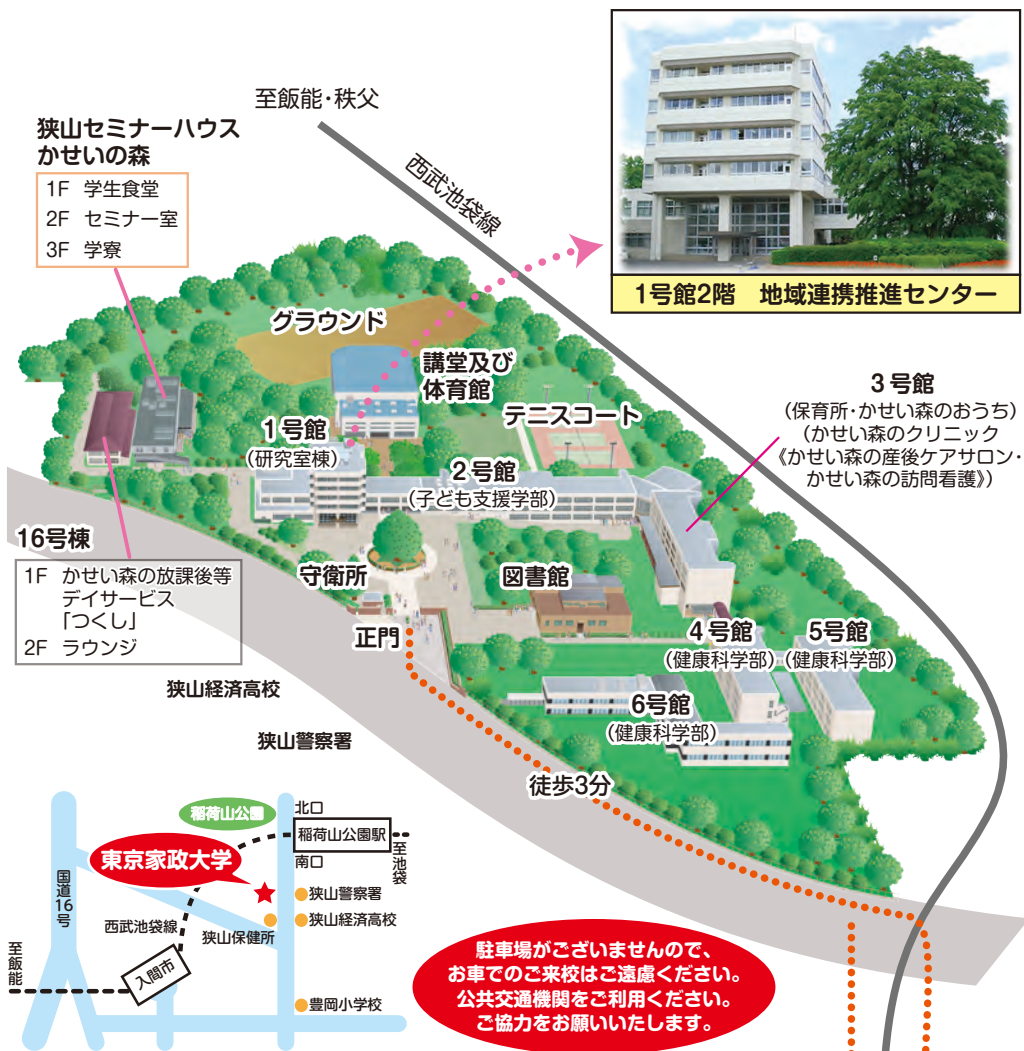
受付時間 平 日 9:00~17:00 土曜日 9:00~12:00

E-mail chiiki@tokyo-kasei.ac.jp

U R L <https://www.tokyo-kasei.ac.jp/society/commulic/index.html>



狭山キャンパスマップ・交通のご案内 ～当大学へのアクセス～



* 西武線をご利用の場合



* JR川越線、東武東上線、西武新宿線をご利用の場合



西武池袋線
稲荷山公園駅
南口下車 徒歩3分

FAX専用用紙

※お申込の前に、P15～19の「受講のご案内・申込方法等」を必ずご確認ください。

- 駐車場はありませんので、お車でのご来校は、ご遠慮ください。
 ■講座決定後のキャンセルの場合は、材料費が伴う講座については、材料費を徴収させていただきます。
 ■講座開講日当日のキャンセルの場合は、受講料・教材費の返金はいたしません。
 ■申込締切日厳守をお願いします。
 ■講座中、広報用として、写真の撮影をさせていただきます。撮影、使用に同意されない場合は、講座当日、お申し出をお願いいたします。

以上の内容を了承の上、公開講座の受講を
下記の通り申込ます。

☐

← ご確認の上、
必ずチェックを
入れてください。

講座番号	希望講座名	
ご住所	〒	
お名前	(フリガナ)	
	男・女	
電話番号	携帯 ()	自宅 ()
	※必ずご記入ください。	
E-mail		
生年月日	年	月 日 (歳)
ご職業	1. 会社員 2. 主婦 3. パート(派遣) 4. 学生 5. 無職 6. その他()	
◆講座は何でお知りになりましたか。☑印を付けてください。 ☐ 東京家政大学からの案内(パンフレット) ☐ 市役所・公民館などの公共施設にあったパンフレット ☐ ポスター・チラシ ☐ 東京家政大学のホームページ ☐ 市報 ☐ 知人・友人の紹介 ☐ その他具体的に ()		
公開講座の 受講状況	1. 今回、初めてセンターの公開講座を受講する。 2. 受講経験がある。※以前に受講された講座名をご記入ください。 ()	

記入不要です。

FAX専用用紙

※お申込の前に、P15～19の
「受講のご案内・申込方法等」を必ずご確認ください。

FAX番号

04-2955-6929

※表裏を間違えて送信されないようご注意ください。



東京家政大学
ヒューマンライフ支援機構
地域連携推進センター

※お申込の前に、P15～19の「受講のご案内・申込方法等」を必ずご確認ください。

- 駐車場はありませんので、お車でのご来校は、ご遠慮ください。
- 講座決定後のキャンセルの場合は、材料費が伴う講座については、材料費を徴収させていただきます。
- 講座開講日当日のキャンセルの場合は、受講料・教材費の返金はいたしません。
- 申込締切日厳守をお願いします。
- 講座中、広報用として、写真の撮影をさせていただきます。撮影、使用に同意されない場合は、講座当日、お申し出をお願いいたします。

以上の内容を了承の上、公開講座の受講を
下記の通り申込ます。

☐

←ご確認の上、
必ずチェックを
入れてください。

講座番号	希望講座名	
ご住所	〒	
お名前	(フリガナ) 男・女	
電話番号	携帯 ()	自宅 ()
※必ずご記入ください。		
E-mail		
生年月日	年 月 日 (歳)	
ご職業	1. 会社員 2. 主婦 3. パート(派遣) 4. 学生 5. 無職 6. その他()	
◆講座は何でお知りになりましたか。☑印を付けてください。 ☐ 東京家政大学からの案内 (パンフレット) ☐ 市役所・公民館などの公共施設にあったパンフレット ☐ ポスター・チラシ ☐ 東京家政大学のホームページ ☐ 市報 ☐ 知人・友人の紹介 ☐ その他具体的に ()		
公開講座の 受講状況	1. 今回、初めてセンターの公開講座を受講する。 2. 受講経験がある。※以前に受講された講座名をご記入ください。 ()	

ミシン線から切り離してご使用ください

— 個人情報情報の取扱いについて —

本申込書にていただいた個人情報、個人情報保護法及び関連法令に基づき適正に管理、保護し、目的以外の利用や第三者への情報提供は行いません。また、個人情報についての訂正・削除等を希望される場合は東京家政大学地域連携推進センターまでお申し出ください。

郵便はがき

郵便料金

改定に

ご注意

ご確認の上
所定の切手を
お貼りください

3 5 0 1 3 9 8

埼玉県狭山市稻荷山 2-15-1

(受取人)

東京家政大学狭山校舎

ヒューマンライフ支援機構 地域連携推進センター

公開講座受付係 行

ミシン線から切り離してご使用ください

ミシン線から切り離してご使用ください



東京家政大学
ヒューマンライフ支援機構
地域連携推進センター

住 所：〒350-1398 埼玉県狭山市稻荷山2-15-1

T E L：04 (2955) 6959 F A X：04 (2955) 6929

E-mail：chiiki@tokyo-kasei.ac.jp

受付時間：平日9:00～17:00 土曜9:00～12:00

U R L：https://www.tokyo-kasei.ac.jp/society/commulic/index.html